

◆漁業士活用育成事業

平成20年度青年漁業士養成講座

水産業改良普及センター 牧野清人

1. 漁業士認定及び審査状況

平成20年11月13日、普及センター会議室にて、青年漁業士養成講座が開催された。本年度の青年漁業士候補者は、久米島漁協所属でモズク生産並びに一本釣り漁業等を行っている田端裕二氏であった。参加者は普及センター職員5名、漁業士2名、水産海洋研究センター職員1名であった。普及センター糸数所長より挨拶があり、漁業士制度と平成20年度水産業改良普及事業について説明がなされた。続いて、港川漁協所属の上原清秀指導漁業士ならびに本部漁協所属の我部政祐名誉指導漁業士から漁船漁業、モズク養殖業に関してそれぞれの体験談を交えながら話して頂いた。地元のみでなく他の地先の漁業者等との連携も大事にし、無線などでコミュニケーションを取ることや、それぞれの漁場における暗黙のルールやマナーを大事にすること、他の漁業者の些細な行動にも気を配ること、漁業者の中だけでなく、専門機関にも足を運び常に勉強を怠らないこと、試行錯誤を繰り返し、独自の技術を磨くことなど、非常に勉強になる話をしていただいた。

最後に水産海洋研究センター須藤研究員より、モズク養殖に関する試験研究についてスライドを用いて説明がなされた。モズクの生活環に始まり、沖縄県のモズク養殖の現状ならびに生産の安定化や利用拡大に向けた研究課題の他、現在取り組んでいる研究内容にも触れ、非常にためになる説明をしていただいた。モズクの安定生産のための試験研究や付加価値向上のための試験研究に関して、漁業士候補者も真剣に耳を傾けていた。



青年漁業士候補者の田端裕二氏



漁船漁業についてお話頂いた上原指導漁業士



モズク養殖業についてお話頂いた我部名誉指導漁業士



モズク養殖試験研究について説明頂いた須藤研究員